

# パラオのヒトデについている橈脚類

元田 茂

Copepoda associated with sea stars in Palau

S. Motoda

珊瑚礁にいる海星（ヒトデ）をとってみると、時に背面（反口側）をチョロチョロ動きまわっているものを見ることがある。それは橈脚類（Copepoda）の一つの群で海星と共生（たぶん片利）している動物である。私が昭和 10 - 12 年パラオに滞在中、岩山湾（礁湖の内湾）でコブヒトデとルソンヒトデからそれぞれ 1 固体の共生橈脚類を見つけ、更にコロール島東方沖の離礁 Auglepelieu Reef に行ったときルソンヒトデとアオヒトデからかなりの数の共生橈脚類を得、また *Fromia* という海星からも 1 固体橈脚類を採集した。これらの橈脚類をとってみると宿主の海星の反口側の色と同じような色を呈して居り、宿主から体液と共に色素を吸収している様が窺われる。採集した橈脚類は概形と胸部附属肢をスケッチし、残りの標本を保存した。昭和 12 年 6 月帰国の際これらの標本を持ち帰り、二三の甲殻類の専門家にこの群に関する文献の教示を仰いだが答を得られず、標本はそのまま放置され、やがて忘却の彼方に消え去った。

それから戦争の時代が来り、標本を観る暇もなかったが、昭和 52 年ボストン大学の Arthur G. Humes 教授がこの類を専攻していることを知り、標本を再検討しようと思って探し出してみたら、管瓶中の標本はすっかり乾燥して片々に砕けて了っていた。止むを得ず昔のスケッチを整理して Humes 教授に送り意見を尋ねたところ、同氏より懇切な返信があり、必要な文献を提供され、またスケッチをみて 3 種の種名を推定された。

平成 2 年 9 月 16 ~ 20 日軽井沢の日本大学セミナーハウスで第 4 回国際カイアシ類会議（Fourth International Conference on Copepoda）が開かれ

た。私は遠い昔のことを思い出し、パラオの海星類に共生する橈脚類について報告することにした。この会議で発表され、提出された論文は審査の上、合格した論文 57 編を編集して 645 頁に及ぶ報告（Proceedings of the Fourth International Conference on Copepoda, edited by Shin-ichi Uye, Shuhei Nishida and Ju-Shey Ho, 1991）として出版された。ところが私が提出した論文は審査委員によって不合格とされた。その理由は橈脚類各種について全附属肢を含む完全詳細なスケッチが要求されるという条件を充たしていないということにあった。しかし私はこの論文は新たな分布と宿主に関する報告で、新種の記載発表や種の再検討を論じたものではないから、種の同定に関しては依拠した文献を示せば十分で、多くの紙面を費やして詳細な記載と図を反復する必要はないと考える。私が昭和 12 年当時この類の動物について無知であったために胸部附属肢にのみ注目し、口部の観察が欠けていたことは事実である。しかし論文に記した 3 種に関する限り、私の観察で十分同定可能であったと思っている。この同定を信用するか否かは読者の自由であるが、専門にやっている人はその聖域に入りこんで来た素人の見解は信用出来ないと云うのかも知れない。

かような次第で私の論文は採用されなかったが、折角観察した事実が永久に消滅して了うのは心残りであるので、ずい分昔のことになったが、ここに記録を残しておくことにする。パラオの海星は 17 種類報告されているが（Hayashi, R. 1938. Palao Trop. Biol. Sta. Studies, No.3, 417-446, pls.2-4）その中で私が調べたのは 10 種で、共生橈脚類が得られたのは 4 種であった。

Subclass Copepoda

Order Cyclopoida

Family Lichomolgidae Kossmann, 1877

1. *Metaxymoligus echinasteris* Humes, 1975  
*Metaxymoligus echinasteris* Humes, 1975, Zool. J. Linn. Soc. 56: 180, Fig.1  
*Metaxymoligus echinasteris* Humes, 1976a, Smithson. Contrib. Zool. 217: 2-6, Figs. 1-4.

本種は *Echinaster luzonicus* (Gray) (ルソンヒトデ) より 1936 年 6 月 6 日パラオ岩山湾で 1 固体、1937 年 2 月 27 日コロール東方沖オーグルペリユー礁にて 数固体、1 固体を得た。宿主海星の反口側体色は赤色、淡褐色又は濃褐色、共生橈脚類は赤又は淡褐色。本種はモーリシアスで *Echinaster purpureus* (Gray) から採集され(Humes 1975)、ニューカレドニアでルソンヒトデから採集されている(Humes 1976a)。

2. *Stellicola iilgi* Humes and Stock, 1973  
*Stellicola iilgi* Humes and Stock, 1973, Smithson. Contrib. Zool. 127: 296-301, Figs. 166-168.  
*Stellicola iilgi* Humes, 1976b, Beaufortia, Univ. Amsterdam, 25 (321) : 59.

本種は 1937 年 2 月 27 日コロール東方沖オーグルペリユー礁で *Linckia laevigata* (Linnaeus) (アオヒトデ) から 多数固体が得られた。宿主海星は青色、共生橈脚類も青色。Humes and Stock (1973) はパラオ、ウルクターブル島及びフィジイ、ヴィティ・レヴ島で同じくアオヒトデから本種を得、更にモルッカ諸島からも採集している (Humes, 1976b)。

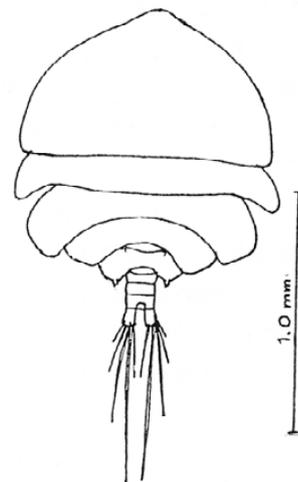
3. *Stellicola oreastriphilus* Kossmann, 1877  
*Stellicola oreastriphilus* Humes and Ho,

1966, cah. ORSTOM, ser. Oceanogr. 4 (3) : 100-101.  
*Stellicola oreastriphilus* Humes and Ho, 1967, Bull. Brit. Mus. (Nat. Hist.), 15 (5), 218-219, pl. 14, Figs. 115-120  
*Stellicola oreastriphilus* Humes, 1976a, Smithson. Contrib. Zool. 217: 13-16.

1936 年 5 月 24 日パラオ岩山湾にて *Protoreaster nodosus* (Linnaeus) (コブヒトデ) から 1 固体を得た。宿主海星の反口側は灰色で黒褐色の瘤があり、共生橈脚類は色がなかった。附着して間もないものと思われる。Humes (1976a) によれば、この橈脚類は 8 種の異なる海星類にみられ、euryxenous の種であるという。

4. Gen. sp.

第 1 図



1937 年 2 月 27 日コロール東方沖オーグルペリユー礁で *Fromia indica forma andamanensis* Koehler なる海星から 1 個体の 橈脚類を見つけた。宿主海星の反口側は淡褐色、共生橈脚類は赤色で白斑を有する。尚この海星には端脚類も共生していた。Humes (私信) によれば *Fromia* からは未だ共生橈脚類は報告されていないという。

本稿を記すにあたり、Arther G. Humes 教授に深甚なる謝意を表す。